

資料2

令和7年度大学入学共通テスト 受験案内

令和 **7** 年度
大学入学者選抜に係る
大学入学共通テスト

受験案内

出願期間	令和6年 9月25日(水) ～ 10月7日(月)(消印有効) ※ 出願期間後の出願は一切受け付けません。
試験期日	令和7年 1月18日(土)・19日(日)

★ 受験に直し、荷重・負傷や障害等のために、受験上の配慮を希望する場合は、受験上の配慮の申請が必要です。
この「受験案内」の18～20ページをよく読み、「受験上の配慮案内」を入手してください。
大学入試センターでは、受験上の配慮に関する事前相談を随時受け付けています。

この「受験案内」は、大学の入学手続が終わるまで大切に保管してください。

 独立行政法人 大学入試センター



「受験案内」の入手方法

- 「受験案内」の配付...9月2日(月)から
- 受取の方法は2通り

＜直接受け取りたい＞

- ・全国の大学入学共通テスト利用
大学入試担当窓口で入手

無料で配付

＜郵送で受け取りたい＞

- ・全国学校案内資料管理事務セン
ターの「受験案内」発送サービス
を利用

送料は利用者負担

令和7年度大学入学共通テスト実施日程

○ 本試験実施

令和7年1月18日(土)・19日(日)

○ 追試験実施

令和7年1月25日(土)・26日(日)

追試験場は、原則として全国を2地区に分け、
地区ごとに1か所を設定

出願期間と出願方法

○ 出願期間

9月25日(水)～10月7日(月)(消印有効)

○ 出願方法

高等学校等の卒業見込み者の志願票

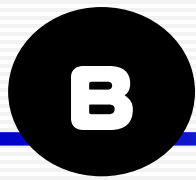
⇒ 在学する高等学校で取りまとめ、大学入試センターに提出

※ 志願票の取りまとめについては「志願票及び訂正届の取りまとめ方法」のスライドをご覧ください。

志願票の記入方法

留意点

- 志願票は必ず志願者本人が記入
 - 志望大学の募集要項等を確認し、受験教科を正しく記入
 - 記入後の志願票のコピーを保管
- ⇒「確認はがき」到着後、登録内容を確認する際に必要



出願【P22・23】



独立行政法人

大学入試センター

National Center For
University Entrance Examinations

志願票【第 I 面】

⑥「卒業見込者・卒業者の別」欄

⑦「入学した年」欄

卒業見込みの志願者の履修課程が
新・旧教育課程のどちらであることを
判別する項目



**卒業見込みの志願者の場合
必ず記入**

⑥ 卒業見込者・卒業者の別				
1 卒業見込者	⑦ 入学した年※		2 卒業者	⑧ 卒業した年
	H平成			S昭和
	R令和	04		H平成
				R令和

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 志願票 第 I 面

出願期間：令和6年9月25日（水）～10月7日（月）（10月7日消印有効）

※折らずに封筒に入れてください。

① 高等学校等コード （「高等学校等コード表」により記入）	出身学校名	② 障害等のある方への 受験上の配慮 （盲・聴覚・身体障害等が必置）	学校記入欄
		希望する	③ 整理番号 学校単位に一度番 号を右に貼めて記 入してください。

④ 課程						
1 全日制	2 定時制	3 通信制				
⑤ 学科						
1 普通科	2 理数科	3 農業科	4 工業科	5 商業科	6 総合学科	7 上記以外の学科

⑥ 卒業見込者・卒業者の別			
1 卒業見込者	⑦ 入学した年※	2 卒業者	⑧ 卒業した年
	H平成		S昭和
	R令和		H平成
			R令和

※⑦卒業見込者の入学した年について、中等教育学校卒業見込者の場合は後期課程に属する年を記入してください。

1 外国の学校等	2 外国教育施設	3 専修学校高等課程	4 文部科学大臣の指定した者	5 高等学校卒業見込者	6 その他
----------	----------	------------	----------------	-------------	-------

⑨ カタカナ記入（姓と名の順を1マスあけ、漢字及び平仮名1マスを併用してください。）

氏名

⑩ 漢字等記入（がく書で丁寧に記入してください。姓の順を1マスあけてください。）

⑪ 性別 1 男 2 女

⑫ 生年月日

⑬ 電話番号（01～03）

⑭ 郵便番号

⑮ 住所

⑯ 入試センター

⑰ 入試センター

⑱ 入試センター

⑲ 入試センター

⑳ 入試センター

㉑ 入試センター

㉒ 入試センター

㉓ 入試センター

㉔ 入試センター

㉕ 入試センター

㉖ 入試センター

㉗ 入試センター

㉘ 入試センター

㉙ 入試センター

㉚ 入試センター

㉛ 入試センター

㉜ 入試センター

㉝ 入試センター

㉞ 入試センター

㉟ 入試センター

㊱ 入試センター

㊲ 入試センター

㊳ 入試センター

㊴ 入試センター

㊵ 入試センター

㊶ 入試センター

㊷ 入試センター

㊸ 入試センター

㊹ 入試センター

㊺ 入試センター

㊻ 入試センター

㊼ 入試センター

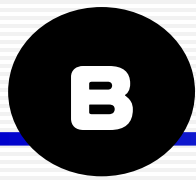
㊽ 入試センター

㊾ 入試センター

㊿ 入試センター

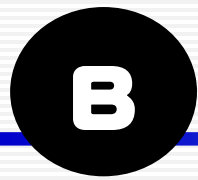
★出願資格が「高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和7年3月に卒業見込みの者」（高等学校の通信制課程の卒業見込みの者を除く。）以外に該当する者は、こちらに記入されている居住所により試験場を指定します。なお、出願後に居住所を変更しても、試験場の変更はできません。（p.36）。

第 II 面（裏面）も必ず記入してください。第 I 面の記入だけでは、志願票の記入を終えたことになりません。



「新教育課程履修者」と「旧教育課程履修者等」とは

新教育課程 履修者	① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)に令和4年4月に入学し、平成30年告示高等学校学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示高等学校学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者	<u>⑦「入学した年」が 令和「04」である者</u>
旧教育課程 履修者等	上記以外の者 ※ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など	<u>⑦「入学した年」が 令和「03」以前で ある者</u>



出願【P22・23】



独立行政法人

大学入試センター

National Center For
University Entrance Examinations

②「障害等のある方への受験上の配慮」欄



受験上の配慮を申請する
志願者のみ記入

記入漏れ、記入間違いが多い項目

⑫「性別」欄

⑬「生年月日」欄

⑭⑮「電話番号」欄

「現住所」欄

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 志願票 第Ⅰ面

出願期間：令和6年9月25日（水）～10月7日（月）（10月7日消印有効）

②障害等のある方への受験上の配慮
希望する

③整理番号

④学 科
1 全日制 2 定時制 3 通信制

⑤卒業見込者・卒業生の別
⑦入学した年次
H平成 R令和
⑧卒業した年次
S昭和 H平成 R令和

⑨その他の出願資格
1 外国の学校等 2 在外教育施設 3 専修学校課程 4 文部科学大臣の指定した者 5 大学入試センター指定の高等専門学校 6 その他

⑩カタカナ記入（姓と名の順を1マスあけ、漢字及び平仮名は1マスを使用してください。）
氏 名

⑪漢字等記入（がいふで丁寧に記入してください。姓と名の順を1マスあけてください。）

⑫性別 1 男 2 女

⑬生年月日
S昭和 H平成

⑭電話番号（自宅・下宿・家）
⑮携帯番号（本人）

⑯郵便番号
都道府県 市区郡町村 町・丁目 番地 アパート・マンション名 号室 棟方

★出願資格が「高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の卒業見込みの者（高等学校の通信制課程の卒業見込みの者を除く。）以外に該当する者は、こちらに記入されている現住所により試験場を指定します。なお、出願後に現住所を変更しても、試験場の変更はできません。（p.36）。

第Ⅰ面（裏面）も必ず記入してください。第Ⅰ面の記入だけでは、志願票の記入を終えたことになりません。

志願票【第 I 面】について多い質問

【Q1】氏名欄に本名と通称のどちらを記入すればよいか

【A1】どちらを記入しても構わない

※大学の個別試験の受験に際しては志望大学へ確認

【Q2】氏名欄に氏名が入りきらない場合はどうすればよいか

【A2】記入欄に入るところまで記入

※ミドルネームは記入しなくてもよい

【Q3】氏名（漢字等記入）欄にアルファベットを使用してもよいか

【A3】アルファベットではなくカタカナで記入

【Q4】「現住所」欄に「大字^(おおあざ)」や「字^(あざ)」を記入する必要はあるか

【A4】記入は不要

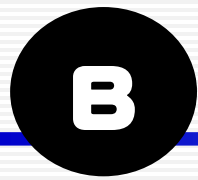
【Q5】小文字を含む場合の「氏名」欄・「現住所」欄の記入はどうすればよいか

【A5】⑩「カタカナ記入」欄は大文字で記入

⑪「漢字等記入」欄及び「現住所」欄は小文字で記入

【Q6】転校生の場合、⑦「入学した年」欄に記入するのは、前籍校の入学年でよいか

【A6】そのとおり



出願【P24・25】



独立行政法人
大学入試センター

National Center For
University Entrance Examinations

志願票【第Ⅱ面】

⑬「別冊子試験問題配付希望」欄



別冊子試験問題の配付希望の者のみ記入

※ 新教育課程履修者は、数学②の別冊子試験問題の配付を希望できない

○「E 検定料受付証明書貼り付け」欄



「日附印」が押されている「検定料受付証明書」を貼付

※ 出願時に使用しなかった払込書

⇒ 登録教科等を訂正し払込金額が変更になった場合に使用するため、登録教科訂正期間までは廃棄せず保管

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 志願票 第Ⅱ面

④受験教科 (p.25の「受験教科」欄の記入方法を参照してください。)
受験する、しないにかかわらず、必ず該当する選択肢の一つを選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選 択 記 入 欄
国 語	A…受験する B…受験しない
地理歴史 公 民	新課程科目を受験する 旧課程科目を受験する ※新課程履修者は選択不可 X…受験しない
数 学	A…受験する B…受験しない
理 科	A…1科目受験する B…2科目受験する X…受験しない
外 国 語	A…受験する B…受験しない
情 報	A…受験する B…受験しない

※選択記入欄に正しく記入されていない場合(未記入、複数の記号を記入、選択肢にない文字を記入等)は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

★受験教科数の計算について
・選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。
・例えば、選択記入欄に上から順番に「A、B、X、X、A、A」と記入した場合、受験教科数は、「X」以外のアルファベットが四つで、合計4教科となります。

【希望者のみ】 ⑤別冊子試験問題配付希望
次の科目の受験を希望する者のみ○をしてください。

外国語のうち次の科目
「ドイツ語」
「フランス語」
「中国語」
「韓国語」

希望する

数学②の旧課程科目のうち次の科目
「旧簿記・会計」
「旧情報関係基礎」
※新課程履修者は選択不可

希望する

⑥成績通知
【成績通知】の希望の有無に○をしてください。

成績通知
希望する 希望しない

払込金額

	希望する	希望しない
3教科以上	18,800円	18,000円
2教科以下	12,800円	12,000円

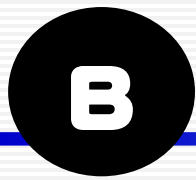
★必ず金融機関の受付窓口で払い戻しをください。

★E「検定料受付証明書」に日附印が押されていることを確認してください。

【該当者のみ】
「イヤホン不適合措置申請書」貼り付け欄

★リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないよう、のりですっきり貼り付けてください。(受験案内47ページ参照)

記入の済んだ志願票は両面ともコピーを取り、コピーは大切に保管してください。



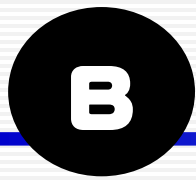
⑱「受験教科」欄

教科名	選択記入欄	
国語	A…受験する ×…受験しない	
地理歴史 公民	新課程科目を受験する	A…1科目受験する B…2科目受験する
	旧課程科目を受験する ※新課程履修者は選択不可	H…1科目受験する K…2科目受験する
	×…受験しない	
数学	A…受験する ×…受験しない	
理科	A…1科目受験する B…2科目受験する ×…受験しない	
外国語	A…受験する ×…受験しない	
情報	A…受験する ×…受験しない	

「受験教科」欄は、
受験する・しないに
かかわらず全て記入

※ 新教育課程履修者は
地理歴史、公民において、
「H」及び「K」の選択はでき
ない

※ 志望大学の指定する教科を必ず確認のうえ、記入してください。



出願時の受験教科登録と試験当日の科目選択方法

地理歴史，公民

<出願時>

受験する教育課程(新教育課程又は旧教育課程)及び科目数(1科目又は2科目)を選択して登録

<試験当日>

登録した内容に従って科目を選択して解答

※ 出願時に登録した教育課程の問題冊子(パッケージ)のみが配付されます。

※ 試験当日に登録した教育課程(新教育課程又は旧教育課程)及び科目数(1科目又は2科目)を変更することはできません。

【志願票Ⅱ面 ⑩「受験教科」欄(「地理歴史，公民」抜粋)】

地理歴史 公民	新課程科目を受験する	A…1科目受験する B…2科目受験する
	旧課程科目を受験する ※新課程履修者は選択不可	H…1科目受験する K…2科目受験する
	×…受験しない	

<新課程科目の問題冊子>

問題冊子の名称	新課程科目
地理歴史，公民①	『地理総合，地理探究』
	『歴史総合，日本史探究』
	『歴史総合，世界史探究』
	『公共，倫理』
	『公共，政治・経済』
地理歴史，公民②	『地理総合／歴史総合／公共』

<旧課程科目の問題冊子>

問題冊子の名称	旧課程科目
旧地理歴史	『旧世界史A』『旧世界史B』
	『旧日本史A』『旧日本史B』
	『旧地理A』『旧地理B』
	『旧現代社会』『旧倫理』
旧公民	『旧政治・経済』
	『旧倫理，旧政治・経済』

数 学

<出願時>

「数学」の受験の有無を登録

<試験当日>

下の表の中から科目を選択して解答

<新教育課程履修者>

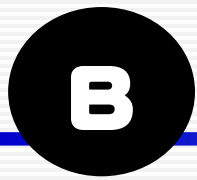
グループ	新課程科目	科目選択方法
数学①	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅰ』	左記2科目から 1科目を選択
数学②	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	—

<旧教育課程履修者>

グループ	新課程科目	旧課程科目	科目選択方法
数学①	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅰ』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』 『旧数学Ⅰ』	左記4科目から 1科目を選択
数学②	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』	左記5科目から 1科目を選択

※ 数学①と数学②で、新・旧の異なる教育課程による出題科目を選択解答することができます。

※ 数学②で別冊子の配付希望を登録した場合は、『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』を選択解答できます。



情報

<出願時>

「情報」の受験の有無を登録

<試験当日>

新教育課程履修者は『情報Ⅰ』を解答

旧教育課程履修者は、下の表の中から科目を選択して解答

新課程科目	旧課程科目	科目選択方法
『情報Ⅰ』	『旧情報』	左記2科目から 1科目を選択

検定料の計算方法

【受験教科数】

「X」以外のアルファベットの数を足した合計

記入例の場合は3教科

国語	A…受験する X…受験しない	
地理歴史 公民	新課程科目を受験する	A…1科目受験する B…2科目受験する
	旧課程科目を受験する ※新課程履修者は選択不可	H…1科目受験する K…2科目受験する

※「地理歴史」と「公民」は合わせて1教科として数えます。

	X…受験しない
外国語	A…受験する X…受験しない
情報	A…受験する X…受験しない

※選択記入欄に正しく記入されていない場合（未記入、複数の記号を記入、選択肢にない文字を記入等）は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

【希望者のみ】⑨別冊子試験問題配付希望
次の科目の受験を希望する者のみ○をしてください。

外国語のうち次の科目

「ドイツ語」
「フランス語」
「中国語」
「韓国語」

希望する

数学②の旧課程科目のうち次の科目

「旧課程科目」
※新課程履修者は選択不可

【成績通知】希望の有無
記入例の場合は希望する

⑩成績通知

成績通知

【成績通知】の希望の有無に
○をしてください。

1希望する

2希望しない

払込金額

成績通知

希望する 希望しない

受験教科数

3教科以上

18,800円

18,000円

2教科以下

12,800円

12,000円

障害等のある方への受験上の配慮

病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について配慮を希望する場合は、受験上の配慮の申請が必要

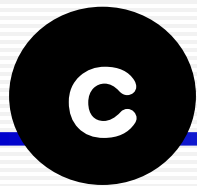
※ 以下の場合も受験上の配慮の申請が必要

- ・ 日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を試験室等で使用
- ・ トランスジェンダー等によりバリアフリートイレのある試験場の希望 等

【受験上の配慮の申請期間】 8月1日(木)～10月7日(月)(消印有効)

(出願前申請期間 8月1日(木)～9月24日(火)(消印有効))

※ 具体的な配慮事項や申請方法は「受験上の配慮案内」の説明スライドをご覧ください。



確認はがき(出願受理通知)～登録内容の確認

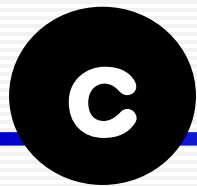
○ 確認はがき(出願受理通知)

10月25日(金)までに到着するように送付

⇒ 受領後は、志願票のコピーと照らし合わせて、出願時の登録内容と確認はがきの表示内容に誤りがないかを必ず確認

確認はがきの送付先

- 高等学校卒業見込みの者(通信制課程を除く) : 在学している学校に送付
- 高等学校の通信制課程を卒業見込みの者 : 志願者本人に直接送付



出願後【P31】



独立行政法人

大学入試センター

National Center For
University Entrance Examinations

○ 全ての登録内容を必ず確認

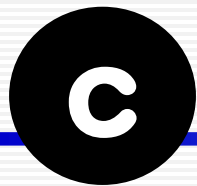
○ 表示に誤りがある場合や
受験教科等を訂正する場合、
各訂正届を提出

高等学校等 コード	13440G 西多摩		
フリガナ 氏名	ヤマバ ミチ 駒場 未来		
生年月日	平成18年10月02日	性別	女
連絡先等	042-395-999× 〒193-0013 東京都駒場市大学町 5-19-23 レジデンス大学町803		
成績通知	あり	受験上の配慮	希望しない
代ホシ不適合措置	なし	履修課程	新課程
登録教科	国語	A	受験する
	地理歴史, 公民	A	新課程科目を1科目受験する
	数学	X	受験しない
	理科	B	2科目受験する
	外国語	A	受験する
	情報	A	受験する
別冊子試験問題	外国語	なし	

住所等

履修課程

登録教科等



出願後【P31】



独立行政法人

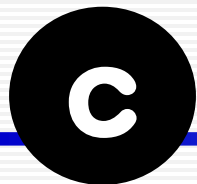
大学入試センター

National Center For
University Entrance Examinations

検定料と登録教科数
に相違がある場合は、
この部分に次のスラ
イドの表の「イ」又は
「ウ」が表示される

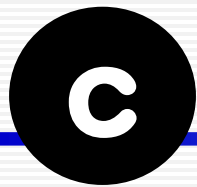
高等学校等 コード	13440G 西多摩		
フリガナ 氏名	コバ ミチ 駒場 未来		
生年月日	平成18年10月02日	性別	女
連絡先等	042-395-999× 〒193-0013 東京都駒場市大学町 5-19-23 レジデンス大学町803		
成績通知	あり	受験上の配慮	希望しない
代ホシ不適合措置	なし	履修課程	新課程
登録教科	国語	X	受験しない
	地理歴史, 公民	※	旧課程科目を選択しているため 登録できません
	数学	A	受験する
	理科	B	2科目受験する
	外国語	X	受験しない
	情報	X	受験しない
検定料が不足しています			
別冊子試験問題	外国語	なし	

新教育課程履修者が
「地理歴史, 公民」で
「旧課程科目を受験
する」を選択した場合
は、次のスライドの表
の「ア」が表示される



出願上の不備がある場合の表示内容と 登録教科等訂正届の提出がなかった場合の取扱い

確認はがきの登録教科欄の表示内容とその理由	訂正しなかった場合の登録方法
ア 旧課程科目を選択しているため登録できません ⇒新教育課程履修者が、「地理歴史、公民」で「旧課程科目を受験する」を選択した場合に表示される	「地理歴史、公民」は「受験しない」で登録
イ 検定料が不足しています ⇒志願票の受験教科欄に3教科以上を「受験する」と記入したが、2教科以下の検定料を払い込んだ場合に表示される	志願票の受験教科欄に「受験する」と記入した教科のうち、 上から2教科で登録
ウ 登録教科数より多く検定料を払い込んでいます ⇒志願票の受験教科欄に2教科以下を「受験する」と記入したが、3教科以上の検定料を払い込んだ場合に表示される	志願票の受験教科欄に「受験する」と記入した教科のとおり登録



登録教科等訂正届

○ 「登録教科等訂正届」は
訂正する箇所のみ記入

○ 確認はがき貼り付け欄に
「確認はがき」のコピーを貼る

○ 必ずコピーを保管

提出締切: 11月1日(金)消印有効

令和7年度大学入学共通テスト 登録教科等訂正届

① 志願者本人の氏名と生年月日を記入してください

フリガナ 氏名 生年月日 年 月 日
□昭和 □平成

② 訂正する箇所のみ、訂正後の内容を記入してください

教科名	訂正記入欄	希望者のみ 別冊子試験問題の配付
国語	A...受験する X...受験しない	外国語 希望する 希望しない
新課程科目を受験する	A...1科目受験する B...2科目受験する	数学Ⅱ 希望する 希望しない
旧課程科目を受験する	H...1科目受験する K...2科目受験する	※新課程科目は選択不可
※新課程履修者は選択不可		
数学	A...受験する X...受験しない	
理科	A...1科目受験する B...2科目受験する X...受験しない	
外国語	A...受験する X...受験しない	
情報	A...受験する X...受験しない	

③ 確認はがきのコピーを貼り付けてください

確認はがき貼り付け欄

登録内容の訂正期限 令和6年11月1日(金) (消印有効)

高等学校コード フリガナ 生年月日 性別

連絡先 下

成績通知 成績上の配属 成績通知

登録教科

国語 地理歴史、公民 数学 理科 外国語 情報

別冊子試験問題 外国語

令和6年10月●日発行 (00000011-010001-000001)

【訂正届の提出者全員】
「確認はがき」のコピーを貼り付けてください。

【対象者のみ】
受験教科数が「2教科以下→3教科以上」又は「3教科以上→2教科以下」に変更となる場合及び検定料と登録教科数に相違があった場合のみ貼り付けてください。

E 検定料受付証明書貼り付け欄

届出の際は、このページをコピーして使用してください。

住所等変更・訂正届

- 確認はがき貼り付け欄に「確認はがき」のコピーを貼る
- 必ずコピーを保管
- 成績通知の送付先の変更は志願者本人から3月3日(月)(必着)までに提出
- 「履修課程」及び「性別」欄の記載に誤りがある場合、直ちに大学入試センター事業第1課(受験案内裏表紙記載)に連絡

令和7年度大学入学共通テスト 住所等変更・訂正届

※センター記入欄

① 志願者本人の氏名と生年月日を記入してください

フリガナ	生年月日	年	月	日
氏名	□昭和 □平成			

② 訂正する箇所のみ、訂正後の内容を記入してください

○氏名	○生年月日
フリガナ	生 年 月 日
漢字	□昭和 □平成

○住所	○出願後に現住所を変更しても、試験場は変更できません。
新郵便番号	(フリガナ)
新住所	

○電話番号（変更のある電話番号のみ記入してください）

新電話番号（自宅・下宿・寮）
新電話番号（携帯電話）

◎「履修課程」「性別」に登録の誤りがある場合は、直ちに大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に電話で連絡してください。

③ 確認はがきのコピーを貼り付けてください

確認はがき貼り付け欄

登録内容の訂正期限 令和6年11月1日（金）（消印有効）

高等学校等 コード	●●●●●●●●●●
フリガナ 氏名	●●●●●●●●●●
生年月日	●●●●●●●●●●
性別	●
連絡先等	〒●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●
成績通知	受験上の配慮 ●●●●●●●●●●
履修課程	●●●●●●●●●●
性別	●
登録教科	地理歴史・公民 ●●●●●●●●●● 数 学 ●●●●●●●●●● 理 科 ●●●●●●●●●● 外国語 ●●●●●●●●●● 情報 ●●●●●●●●●●
登録科目	●●●●●●●●●●

令和6年10月●日発行 (00000011-010001-000001)

【訂正届の提出者全員】

「確認はがき」のコピーを貼り付けてください。

提出前に確認してください

氏名に登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられるか、カタカナのみ表示されますが、登録の誤りではありません。

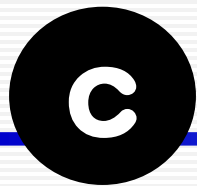
住所に登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられるか、カタカナで表示される場合がありますが、登録の誤りではありません。

①「成績通知」「受験上の配慮」「イヤホン不適合措置」は、出願時に申し込んだ内容を変更することはできません。

②「登録教科」「別冊子試験課程の有無」を訂正する場合は、11月1日までに、33ページの「登録教科等訂正届」に必要な事項を記入して提出してください。

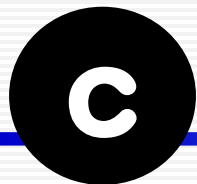
11月19日出席に大学入試センターに届いた分については、受験場への印字が間に合いませんので、受験場到着後に手続を行ってください。
→受験案内38ページ

届出の際は、このページをコピーして使用してください。



受験票・写真票・成績請求票

- 12月16日(月)までに届くように送付
 - ⇒ 試験場や登録教科等及び、同封の「受験上の注意」を必ず確認
- 「受験上の注意」の主な内容
 - 試験当日、試験時間中の注意事項
 - 追試験の受験申請方法 等
- 受験票の送付先
 - 高等学校等卒業見込みの者(通信制課程を除く) : 在学している学校に送付
 - 高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者 : 志願者本人に直接送付



○ 受験票の確認ポイント

①登録教科等に関わる部分

(1) 履修課程(「新教育課程履修者」又は「旧教育課程履修者」)が表示されてる

令和7年度 大学入学共通テスト受験票
指定された試験場以外では、受験できません。

試験場名	東西大学第1試験場	試験コード	200011
所在地	東京都目黒区駒場2-19-23		
道順	京王電鉄井の頭線「駒場東大前駅」西口下車、徒歩5分		
問合せ大学	東西大学	試験当日以外の電話	03-3465-8600
		試験当日の電話	03-3465-8600

この受験票は大学の入学手続まで必要です。

西摩高等学校
(〒154-8541)
駒場 未来 殿
(134406-20011-010001)

写真
(4cm×3cm)
写真の裏に氏名を記入の上、あらかじめしっかりと貼っておいてください。

受験番号
1001X

性別 女 平成17年10月02日生

履修課程 旧教育課程履修者

受験教科名	備考
1 地理歴史、公民	登録科目数2 (旧課程科目を登録)
2 国語	別冊子配付あり
3 外国語	登録科目数1
4 理科	別冊子配付あり
5 数学①	
6 数学②	
7 情報	

監督者の指示に従ってください。

200011 - 1001x - 1
(コマ) ミライ
駒場 未来

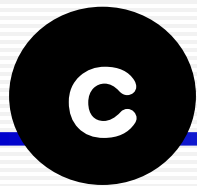
1 この写真票は、受験票とともに必ず持参してください。
2 この写真票は、試験時間内に回収します。試験当日、監督者の指示で切り離してください。

②試験場に関わる部分

(2) 旧教育課程履修者のみ、「地理歴史、公民」の備考欄に(新課程科目を登録)又は(旧課程科目を登録)と表示されている

訂正届を提出した場合は、訂正届のコピーと照らし合わせて訂正した内容のとおり表示されているか確認してください。

- ・ 成績請求票は大学に出願するまで大切に保管
- ・ 受験票は共通テスト終了後も大切に保管



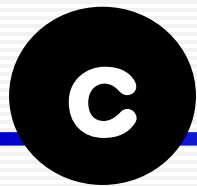
試験場の指定

原則

- 各志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする「試験地区区分表(p.37)」に基づき設定
- 下表のとおり出願資格によって指定する試験場は異なる

出 願 資 格	指定する試験場
高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を令和7年3月に卒業見込みの者 *ただし、下欄②を除く。	出願時に在学している学校が所在する試験地区内の試験場
① 上欄以外の者 ② 高等学校の通信制課程を令和7年3月に卒業見込みの者	志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場

※ 学校の最寄り(通信制課程の場合、各志願者の現住所の最寄り)の試験場が指定されるとは限らない



高等学校等の卒業見込者の試験場の指定

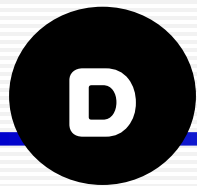
同じ高等学校等の卒業見込者(通信制課程を除く)は同じ試験場に指定するよう考慮するが、以下の理由により別々の試験場に指定されることがある

- (1) 「地理歴史, 公民」及び「理科」の受験科目数の組合せ, 「地理歴史, 公民」の受験する教育課程
- (2) 試験場のトイレ等の設備
- (3) 受験上の配慮を申請した志願者

《よくある質問》

出願後に、志願者が転校等により「出願した高等学校の卒業見込み者」でなくなった場合はどうなるのか。手続は必要か。

- ・ 手続は不要
- ・ 出願時の出願資格で受理しているため、共通テストはこのまま受験可能
- ・ 試験場は「出願した高等学校の卒業見込者」として指定(変更できない)
- ・ 確認はがき、受験票は出願時の高等学校へ送付
(出願時の高等学校が通信制課程の場合を除く)



リスニングの概要

○ リスニングを実施する教科・科目

- ・ リスニングは外国語『英語』の一領域として実施
- ・ 外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの双方を受験
- ・ 『英語』以外の外国語を受験した場合、リスニングを受験することはできない

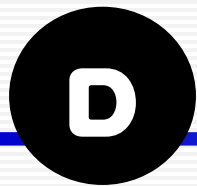
○ 試験時間・解答時間

リスニングは、ICプレーヤーを使用し、試験時間60分の中で、解答開始前にICプレーヤーの操作準備・作動確認・音量調節を行った上で、30分間で解答

○ 聞き取る英語音声の流れる回数

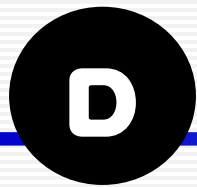
聞き取る英語の音声を2回流す問題と、1回流す問題がある

問題	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	第6問
流す回数	2回	2回	1回	1回	1回	1回



ICプレーヤーの操作体験

- 大学入試センターのホームページにある「ICプレーヤー操作ガイド」(<https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/listening.html>)で、ICプレーヤーの操作をパソコンから体験することができる
- ICプレーヤーの「電源」、「確認」、「再生」の3つのボタンの長押しの方法や操作上の注意事項、リスニングの流れが分かるようになっている



イヤホンが装着できない場合

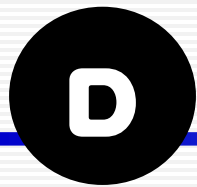
- イヤホンが装着できない場合は、試験当日にヘッドホンを貸与する
- 貸与を希望する場合は、必ず出願時に申請すること

留意点

- ・ 申請はイヤホンがどうしても装着できない場合に限る
- ・ 出願時に申請がない場合、試験当日に申し出てもヘッドホン貸与不可

【申請の流れ】

- ① 8月1日以降、共通テスト利用大学の入試担当窓口で電話連絡の上、志願者本人が直接、「イヤホン不適合措置申請書」に確認の署名をしてもらいに行く
- ② 必要事項が記入された「イヤホン不適合措置申請書」を志願票の所定の欄に貼り付けて出願時に申請する



リスニング解答時間中の注意事項

リスニング解答時間中に解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせること

⇒ 試験が終わってから申し出ても、救済措置(再開テスト)はない

以下の日常的な生活騒音等は、再開テストの対象にはならない

- 監督者の足音・監督業務上必要な打合せなど
- 航空機・自動車・風雨・空調の音など
- 周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など
- 携帯電話や時計等の短時間の鳴動、イヤホンやヘッドホンからの音漏れ、周囲の建物のチャイム音など

※ 電子機器類は、必ずアラームの設定を解除し電源を切っておくこと



受験に当たっての主な注意事項

- (1) 受験者入室終了時刻から試験終了までは、退室できない
(体調不良、トイレ等によりやむを得ない場合は手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。)
- (2) 「2科目受験する」と登録した受験者は、第1解答科目の入室限度時刻までに入室しないと、後半の第2解答科目を含めて、その試験時間は一切受験できない
- (3) 「地理歴史、公民」及び「理科」の受験票に記載された受験科目数を、試験当日に
 - 2科目受験 → 1科目受験
 - 1科目受験 → 2科目受験

変更できない



(4) 『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、60分間で必ず二つの出題範囲を選択解答すること

- 一つの出題範囲のみの受験はできない
- 解答の順序と時間配分は自由

(5) インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス等の感染症に罹患し治癒していない場合又は発熱・咳等の症状があるなど体調が万全でない場合は、追試験の受験を申請すること

※ 追試験の受験申請方法については、「受験上の注意」に明示



試験時間中の主な注意事項

(1) 全ての試験時間において以下のものを使用してはいけない

- 「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）」
「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具
- 「携帯電話」「スマートフォン」
スマートウォッチやスマートグラス等の「ウェアラブル端末」
「タブレット端末」「電子辞書」「ICレコーダー」「イヤホン」
「音楽プレーヤー」等の電子機器類（リスニングの試験時間に
配付するICプレーヤー，イヤホン及び音声メモリーは除く。）



- 前のスライドに記載の補助具や電子機器類を身に付けたり手に持っていると不正行為となることがある
- イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となる
(試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要)
- 電子機器類は、受験する教科・科目の試験室への受験者入室終了時刻までに必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておく

(2) 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行う

- ・ 監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがある
- ・ 不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合がある

(3) 英文字や地図等がプリントされた服等は着用しない



(4) 解答上の注意事項

- 解答には、必ず黒鉛筆(H, F, HB)を使用
(黒鉛筆(H, F, HB)以外のもを使用してマークした場合は、
解答を読み取れないことがある)

- 解答用紙に解答科目を正しくマーク

【よくあるケース】

- ・ 解答科目欄に、解答科目がマークされていない
→ 解答科目が特定できない場合は0点
- ・ 実際に解答した科目と異なる科目を解答科目欄にマークした
→ 解答科目欄にマークされている科目で採点

※ 「解答科目欄の不適切なマーク例」

⇒ 大学入試センターホームページに12月頃掲載予定



不正行為

《不正行為を行った場合の取扱い》

- その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできない
- 受験した共通テストの全ての教科・科目の成績を無効とする
- 状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合がある

- 不正行為となる内容について受験案内p.52を必ず確認
- 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行い、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合がある



得点の調整

本試験において、得点調整の対象となる各科目間で、次のいずれかが生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行う

- ・ 20点以上の平均点差が生じた場合
- ・ 15点以上の平均点差が生じ、かつ、区分別点差が20点以上生じた場合

【対象教科・科目】

- ① 地理歴史の『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理B』の間
- ② 公民の『公共、倫理』『公共、政治・経済』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』の間
- ③ 数学のグループ①の『数学Ⅰ、数学A』と『旧数学Ⅰ・旧数学A』の間
- ④ 数学のグループ②の『数学Ⅱ、数学B、数学C』と『旧数学Ⅱ・旧数学B』の間
- ⑤ 理科の『物理』『化学』『生物』『地学』の間
- ⑥ 情報の『情報Ⅰ』と『旧情報』の間

※ 受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としない。

ただし、『情報Ⅰ』と『旧情報』の間については、いずれかの受験者数が1万人未満であっても得点調整の対象とする。

※ 得点調整の実施の有無については、1月24日(金)に発表予定



試験成績の大学への提供

- 大学入試センターは、共通テストを利用する各大学からの請求に基づき、当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績（「科目別得点」及び「段階表示」※）を提供
- 各大学の出願期間、試験期日、成績の取扱い等については各大学の募集要項等で確認

※受験者を得点順におおよそ4, 7, 12, 17, 20, 17, 12, 7, 4%の群に分割し、科目別得点を得点の低い方から順に1～9の9段階に換算して、当該科目の全体における受験者の位置づけを表示

先生方へのお願い

以下についてご指導・ご協力をお願いします。

〈試験当日の事項〉

○ 車送迎の自粛

例年、試験実施大学に、近隣店舗や住民の方から多くの苦情が寄せられるため、可能な限り公共交通機関で試験場に向かうようにしてください。

○ 当日の服装

試験当日の服装は、高等学校等の制服でも、私服でもどちらでも構いません。

今後、必要な連絡事項が生じた場合は、受験票等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示するほか、大学入試センターのホームページにおいて情報を提供します。